

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校

学校番号	101
------	-----

自己評価

学校教育目標	・障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身に着け、社会に貢献する児童生徒を育成する。
--------	---

評価する領域・分野	視覚障がい支援部「児童生徒支援」「センター業務」
現状及びアンケートの結果分析等	・個別の教育支援計画について、保護者から高い評価を得ているが、一方で「わからない」の割合が一定数ある。教員間で情報共有、引継ぎをし、担任が保護者や本人と目標や将来について具体的に話ができるようにすること、現在の取組の意義について生徒と具体的に話ができるように努める。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・校内では、全職員で共通理解を図るための児童生徒理解研修を実施する。 ・関係諸機関との連携、視覚障がい教育の専門機関としてセンター的機能の充実を図る。
重点目標を達成するための校内組織体制	・視覚障がい支援部、学習研修部など他分掌、各学部教員 ・視覚障がい支援部（見え方の相談支援センター）
目標の達成に必要な具体的取組	・個別の教育支援計画の取りまとめ、校内コーディネーター連絡会 ・視機能評価、職員研修 ・県内小中学校の養護教諭対象の学校保健講習会や特別支援教育推進協議会や就学支援委員会等で見えづらさの理解啓発をする。 ・支援訪問、来校相談支援、電話相談、補助具の貸出、「目に関する相談会」、指導者相談、研修、プレ弱視通級、乳幼児教室（関係機関との情報共有）
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・相談内容・ニーズに応じて情報提供、支援をすることができたか。 ・必要に応じて関係諸機関と連携することができたか。
取組状況・実践内容等	・就園、就学、居住地での学習活動に関わって関係機関とつながり、情報共有、個に応じた支援を行った。 ・職員研修として、児童生徒理解研修会、視能訓練士を講師に招いた研修会を行った。

評価の視点	評価
①保護者や本人の意見が個別の教育支援計画に反映されている。	A <input checked="" type="radio"/> B C D
②視覚障がい児者に対して適切な指導・支援をしている。	A <input checked="" type="radio"/> B C D
③視覚障がい児童生徒教育の相談支援センターとしての役割を果たしている。	A <input checked="" type="radio"/> B C D
成果・課題	総合評価
○保護者や生徒に丁寧な聞き取り、視機能評価で見え方を把握し、個別の教育支援計画に反映することができた。 ▲適切な指導・支援につながるよう、校内・校外への情報発信・研修を行う。	A <input checked="" type="radio"/> B C D
来年度に向けての改善方策案	・校内の児童生徒に関しては職員間で情報、指導支援について共通理解をする。校外の児童生徒に関して、関係機関と連携、市教育委員会の協力を得て、ニーズがある児童生徒の掘り起こしや情報、支援提供を連携して行う。

学校関係者評価 （令和6年1月29日実施）

意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の関係機関と連携していくことで、見えづらさがある子どもの進路選択を拡大させたい。 ・今後も個別の教育支援計画を周知し、意義のある活用をしていく。